

分野：⑬SDGs

(生物と地球環境)

環境アドバイザー

神山 裕則

対象 川口市立柳崎小学校（94人）
場所 6年生

所要時間 2時間
実施時期 令和3年3月18日

概要

SDGsについて
ボルネオと日本との関係（森林伐採・パームヤシ油など）

プログラムの
ねらい

SDGsの狙い
世界の地域と、日本人は、つながっていることを知る。
そして、できる活動を考えて、行動する。

プログラムの内容

1. 導入

SDGsのことについて、大まかに知る。
ラオスの子どもの話（貧困・飢餓・教育など）

2. ボルネオと日本の関係

森林伐採・焼き畑農業・異常気象
パームヤシ畑・

私たちとの関係 木を輸入（オリンピック関連・
コンビニの商品の半分以上に、パームヤシ油が
入っていること。植物油としか書かれていない。
私が、していること

ラオスに、文具を届ける活動

ボルネオの土地を買って、植林活動の手助け

3. まとめ

自分ができること。→ 親に話す。友達と話す。エコな生活を送る。



写真が撮れなかったので、
授業で使用した物です。

受講者の反応

オランウータンがかわいそうと、泣きながら話す子がいた。（オランウータンは、何もしていないのに、人間に撃たれるなんて。）感性の強い子には、衝撃かもしれないと思った。
普段の生活で、できることをしようと感想があった。